

軍機

海軍功績調査部長殿

第十戦隊機密第三號ノ一。

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三十一日

十月十五日送付

第十戦隊戦時日誌

第十戦隊司令部

10
51

送付

10/15
検査

0880

205

目次

一、経過

二、人員ノ現状

三、令達報告等

四、作戦経過ノ概要

10
15

(目次終)

一 経過

（一）大部（矢野、四駆、十七駆）ハ第一遊撃部隊トシテ、カ方面ニ於テ訓練警戒待機ニ從事中、處十七日敵機動部隊北島東方海面ニ策動敵攻略部隊トシテ、島方面攻路中トノ報アリ直ニ捷一號作戰警戒茲ニ第三軍隊已分発令第三部隊ニ編入セラレ、十八日コリンガ登コルネイニ向テ同日捷一號作戰発動下令、二十日コルネイ着急速補給、上同地ニ於テ警戒待機、二十二日コレイニ着突入、目的ヲ以テ同地ニ向ケコルネイ出撃、二十四日、二十五日、二十六日、三日間コリンガ海コサマル島東方ニ於テ約二十回次ニ互リ延一十機、艦上機及一部陸上機ト交戦、又二十五日コサマル島東方（四駆、野分、コレイ、湾）ニ於テ敵水上部隊ト交戦水上戦闘對空戦闘ヲ通ジ判明セル當隊戦果及被害、左ノ如シ

尚ニ五日、水上戦闘終了後「シブヤン」海ヲ経テ二十八日コルネイニ返投爾後同方面ニアリテ警戒待機茲ニ多量作戦ノ間接支援ニ任ス

戦果

水上戦闘

轟撃流

エントロプライス型空母二隻 中型空母

一隻 巡洋艦一隻 駆逐艦三隻（内

對空戦闘

（一隻他隊ト協同）

自隊ニテ擊墜確實（不確實）

艦上機 一四機（六機）

他隊ト協同擊墜隊上（破）

艦上機八機（四機）

被害

矢矧 霰彈直撃一、至近敷発、砲彈直撃一

四駆消息不明

十七駆 浜風ニ岳崖火災、外各艦大ナル損傷ナシ

一部（六十一駆、四十一駆）ハ第二遊撃部隊トシテ内海西部ニマリテ訓

練警戒待機ニ從事中、處十四日附機動部隊本隊ニ編入

セラレ捷一號作戦発令セラルマ、三四航戦ノ警戒ニ任ジ

ツ、内海西部各「コロ」ロニ神海戦ニ参加相高ノ戦果ヲ擧ゲタ

ルモ、秋月沈没、初月消息不明トナレリ、爾余ノ部隊ハ内海西

部ニ散投爾後同方面ニ於テ警戒待機ニ任ズ

（中略）

「リング」ニ於テ訓練警戒待機中ノ所、五日昭南ニ因航整備補

給ニ任ジタル後八日「リング」ニ散着セリ尚一日、四日、九日、十日、十三

日訓練ノ爲夫々巷外ニ出動ス比島方面敵情ニ基キ十六日第一戦備完成十七日第二部隊ニ編入十八日コロンガ出撃二十日コロンガ有急速補給ノ上二十一日コロンガ出撃コロンガ湾突入ヲ目途トシテ進撃中コロンガ湾コロンガ島東方ニ於ケル対空砲ニ水上戦闘ニ参加ス前記ノ戦果ヲ收メタルモ被弾ノ爲船体兵器ノ一部損傷戦死者四十二名重傷者四十名ヲ算スルニ至レリ二十五日水上戦闘終了後敵情ニ鑑ミコロンガ湾突入ヲ中止敵機動部隊ヲ北北上コロンガ湾突破シコロンガ湾海峡突破シコロンガ湾通過二十八日コロンガ湾敵着爾後同地ニ於テ警戒待機並ニ多量作戦ノ間接支役ニ任ス

四等之十一駆逐隊

内海西部ニテ訓練警戒待機ニ從事中ノ所十四日耐機動部隊本隊ニ編入本隊警戒艦トシテ二十五日コロンガ湾海戦ニ参加相當ノ戦果ヲ擧ゲタルモ秋月八三。敵機動部隊ノ艦上機ト交戦被弾沈没初月八三。頃ニ。度三分北一五度二分東ニ於テ敵水上部隊ト交戦(推定)爾後消息不明トナレリ他ハ内海西部ニ取投警戒待機ニ任ス高富司令部ト別動中ニ付詳細不明(同隊戦時日誌参照)

イ 等四十一 駆逐隊

内海西部ニテ訓練警戒待機ニ從事中ノ所 九日同地奄横須
 加ニ團航大定ト合同十一日同地奄大定ノ警戒ニ任ジシ、内海
 西部(大定ハ大分沖)ニ團航中ノ所 十二日一九三五北緯三三度五七分
 東經一三八度三分ニ於テ冬月敵潛、雷撃ヲ受ケ石 艦ニ魚雷一本
 命中揚留機ヨリ前方切断 是ニ於テ修理ニ從事人十四日同隊
 機動部隊本隊ニ編入霜月ノミ本隊警戒艦トシテ十五日、コセリ
 ツビシ沖海戦ニ参加相雷、戦果ヲ擧ゲ爾後内海西部ニ團航、
 警戒待機ニ任ズ向雷司令部ト別動中ニ付詳細不明(同隊戦時
 日誌参照)

ロ 第四 駆逐隊

イ 滿 潮

十六日迄ノ経過概テ矢列ト同断
 十七日野分ト共ニ昭南ニ同航雄鳳丸八紘丸ト合同之ヲ護衛シ
 テ十八日昭南奄「ブルネ」ニ團航 二十一日同地着急速補給同日
 朝雲山雲ト共ニ等三部隊ニ編入セラレ翌二十二日「ブルネ」奄「ス
 ル」海及「スリカオ」海峡ヲ経テ二十五日「レイ」湾ニ突入所在敵
 水上艦艇ト交戦相當ノ戦果ヲ收メタルガ如キモ爾後消息不

明トケリ

心野分

十四日第三哨艦トケリ外二十日迄、經過概不滿潮ト同断
二十一日第四駆逐隊、中野分ノミ第二部隊ニ残留ニ水戦ヨリ
編入、清霜ト共ニ三番隊トナル

井水戦ヲ編入、清霜共ニ三番隊トナル

爾後二十四日迄、經過概不矢矧ト同断、二十五日「サマル」島東
方ニ於ケル敵水上部隊ト、戦鬪一段落後損傷艦筑摩ノ
警戒ニ赴キタル儘爾後消息不明トナレリ

朝雲 山雲

十日「ベル」ヲ衛所敵潜水艦ヲ見キモ、発見ノ報ニ依リ同
水道ニ急行シテ掃蕩ニ任ジタルモ誤認「リシユ」ト判明掃蕩
ヲ止メ十一日錨地ニ撤収セル外十九日迄、經過概不矢矧ト
同断、二十日「ブルネ」入港ト同時ニ雄鳳丸船團ト合同之ガ
護衛ニ注スル為及転セルモ遂ニ會合スルヲ得ズ、二十一日「ブルネ」
ニ歸投ス爾後、經過概不滿潮ト同断

ボ第十七駆逐隊

浦風

第三戰隊警戒艦トシテ、渠風、雪風、磯風ト共ニ二日昭南着輸送人員物件陸揚ノ上ニ三日同地発コリンク着、四日訓練ノ爲出動、八日司令駆逐艦ヲ同艦ニ変更第三哨艦ノ任務ニ從事、九日以後二十五日迄ノ経過概ネ夫列ト同断、二十六日「クローヨ」西水道ニ於テ主隊ト分離補給ノ爲「コロシ」ニ回航同地ニ於テ補給ノ上、二十八日「ブルネイ」ニ入泊爾後同地ニ於テ警戒待機並ニ多荒作戦間接支援ニ任ズ、對空戰鬥、水上戰鬥ニ於ケル被害兵器ノ一部損傷セル外極メテ輕微

四 渠風

哨艦任務ニ從事セザリシ外ニ十三日迄ノ経過概ネ磯風ト同断、二十四日ノ對空戰鬥ニ於テ武藏妙高損傷ヲ被ルヤ、爾後之ガ警戒艦トナリ、三十一日「ブルネイ」着、對空戰鬥ニ於ケル被害ニ缶室火災後使用不能、發揮シ得ル最大速力二十八節

(3) 雪風

十日迄ノ経過概ネ渠風ト同断、十一日第三哨艦ノ任務ニ從事ス、十二日以後ノ経過概ネ矢矧ト同断、對空戰鬥ニ於ケル被害ナ

(4) 磯風

七日迄ノ経過概テ浦風ト同断入日司令駆逐艦ヲ浦風ニ変更
 昭南ニ固航入ヲ整備ニ從事十七日「リソガ」ニ般投爾後ノ経
 過概テ矢知ト同断
 對空戦闘水上戦闘ニ於ケル被害兵器ノ一部損傷セル
 外極メテ輕微。

(二) 艦隊区分 (十月八日附)

二		一		○	矢矧	△	艦隊区分	
四	三	二	一				第一小隊	第二小隊
第十七駆逐隊		第四十一駆逐隊		第六十一駆逐隊		艦(隊)名		
浦風 浜風		滿朝 野分		初月 若月		第一小隊		
雪風 磯風		朝雲 山雲		秋月 涼月		第二小隊		

二		一		○	矢	知	△	第一艦	第二艦
四	三	二	一						
第十七 駆逐隊		第四十一 駆逐隊		第六十一 駆逐隊		初月		霜月	
(1) 浦風 (2) 浜風 (3) 磯風 (4) 雪風		(1) 滿朝 (2) 野分 (3) 朝雲 (4) 山雲		(1) 初月 (2) 若月 (3) 秋月 (4) 涼月					

(三) 艦隊区分 (十月三日附)

日	艦	隊	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	
初月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海		
若月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海		
秋月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	
涼月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	
冬月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	
霜月	第六十一	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
満月	第四	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
野分	第四	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
朝雲	第四	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
山雲	第四	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
浦風	第十七	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
浜風	第十七	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
雪風	第十七	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海
磯風	第十七	駆逐隊	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海	内海

別動中ニ付詳細不明

四麾下艦船部隊ノ行動所在

7

三人員、現狀

司令部

主要職員官氏名

同	附	同	同	同	参謀	司令官	職
暗號	庶務主任	機関参謀	通信参謀	砲術参謀	首席参謀		主務
海軍兵曹長	海軍主計中尉	同	同	海軍少佐	海軍大佐	海軍少將	官
庄司清七	佐原亨	岩井正二	吉村一友	朝田一利	南六石衛門	木村進	氏名
					任海軍大佐 十月十五日附		記事

三、令達報告等

記事	員数	種別
分離行動中ノモアリ明確ナル員数ヲ得ズ	一七二	士官
	一二九	特准
	一七〇	下士官
	三四〇	兵
	二	其他
		合計
		五四一

二、麾下総員数

記事	員数	兵種
	二四	兵科
	〇	飛行科
	〇	整備科
	〇	検閲科
	〇	軍樂科
	〇	看護科
	七	主計科
	〇	傭人
		合計
		三一

四、下士官兵、他員数

一三五 二	P 19B 〇〇三〇	P 2.S 一四〇〇	元 日 時
P GF 大海 吳鎮長官 (通報) P 19S 大定 P 19S 大定	P 2.S P 19S P 19S P 19S (通報) P 〇六四五 P 〇六四五	P 19S P 1000 P GF P GF 吳鎮長官 (通報) P 2.F P 19S P GF	愛 日 時
機動部隊電令作第五一號 一四七號八月内海西部發橫須賀二回航 スベン 三六定及四十一號準備出來次第内海西部	第一遊撃部隊電令第一〇九號 第十七驅逐隊、昭南ニ於ケル揚捨作業終了 セバ、リソガ、第三警戒捕地ニ進出スベン補給ハ 當地ニ於テ實施ス 19B 機密第一〇三〇番電 第一遊撃部隊電令第一〇九號	第二戰隊、第十七驅逐隊昭南島着 2.S 機密第一〇三四〇番電	令 達 報 告 等
信	電 信	電 信	種 別

	$\frac{P}{kdB}$ 一三七 一八七 大定 $\frac{P}{kdB}$ (通報)	$\frac{P}{kdB}$ 一三七 一八七 大定 $\frac{P}{kdB}$ (通報)
$\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{P}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{P}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ (通報) 六八 六五 磯風	$\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ 大定 $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ 磯風	$\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ 大定 $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ $\frac{P}{100F}$ 磯風
17B 機密第 〇八 磯風ハ八日「リング」発給南商港ニ回航入渠整備ノ 上一六日迄「リング」泊地ニ進出スベシ (通報) 一〇一工部部 百一重部部	機密第 〇七一三一 番電 機動部隊電令作第五二號 機動部隊電令作第五一號中 四十一駆内海西部 發ヲ十月九日ニ改ム	(大定ハ大分沖)ニ回航スベシ 大定艦長 ハ紀伊水道附近ニテ 四十一駆ヲ分離スルコト ヲ得 三、四十一駆ハ往復共豊後水道ヲ通過スベシ 四國 南方海面ニ於テ同隊ヲ目標トシテ 二航艦 及三航艦 飛行機隊、訓練ヲ實施、予定 四、大定艦長及 四十一駆司令ハ行動ヲ定メ報 告通報スベシ
電 信	電 信	電

<p>朝雲</p> <p>一九五〇 二</p>	<p>P 10.5</p> <p>一九五〇 八</p>	<p>P 15</p>	<p>P 17dg</p> <p>二二四五</p>
<p>通報</p> <p>P 10.5</p> <p>P 15</p> <p>P 10.5</p> <p>P 15</p> <p>19dg 5.5</p>	<p>P 15</p> <p>二〇二〇</p>	<p>17B</p> <p>一〇四六</p>	<p>通報 港務部長</p> <p>100g 二軍需 二工務部長</p> <p>P 10.5 P 2F P 17F</p> <p>七三〇</p>
<p>朝雲機密第一。一九五二番電</p> <p>一 狀況調査ノ結果衛所ニテハ。六一九「ガード ルト」作動セリ船体見エサリシ爲テ発光信號 ニテ「タレット」送信シタルモ應答ナキヲ以テ翌 水艦ト判断セント「コトナリ」</p> <p>二 所見昨夜衛所通航セル船舶ハ「アヤキリ」丸 一隻西航セルヲミト稱スルモ「ムチ」燈台ノ三四五度</p>	<p>魚雷一本浮上後沈没捜索中 (位置。一分北。五分東)</p> <p>10.5機密第一。一九五八番電</p>	<p>15 信令第一七九號</p> <p>第十戰隊司令官ハ速ニ駆逐艦ニ隻ヲ「W」区ニ派 遣飛行機ト協同敵艦掃蕩攻撃ニ任ゼンム</p>	<p>17dg 機密第一。七三二四五番電</p> <p>磯風八日〇六。「リリング」泊地発二。昭南商港東 端地着。予定彈藥魚雷重油等ノ陸揚ニ関シ至 急手配ヲ得度</p>
<p>信</p>	<p>電信</p>	<p>信號</p>	<p>電信</p>

<p>P 2YB</p> <p>一四三三</p>	<p>P GF</p> <p>〇九二五</p>	<p>A 15</p> <p>〇二二五</p>	
<p>P 2AF bldg bldg P GF</p> <p>(通報)</p> <p>二〇一三</p>	<p>P GF P GF P GF P GF</p> <p>(通報)</p> <p>〇九二二</p> <p>秋海軍一部長 秋海軍一部長 秋海軍一部長 各鎮警各長官</p>	<p>朝雲山雲 P 105</p> <p>(通報)</p> <p>〇一四〇</p>	
<p>2YB 機密第一三三四三番電</p> <p>第二遊撃部隊信電令作第四號</p> <p>第六工駆逐隊司令官麾下駆逐艦二隻ヲシテ機</p> <p>動部隊電令作第五五號ニ應ナル如ク行動セ</p> <p>シムバン</p>	<p>GF 機密第一〇九二五番電</p> <p>GF 電令作第三三一號</p> <p>基地航空部隊</p> <p>捷ニ號作戰警成</p>	<p>内海ヲ掃航シ、歸投セヨ</p> <p>15機密第一〇二五番電</p>	<p>六埋ニテ本艦ニ反航セル重油滿載ノ約五〇噸</p> <p>「タンガ」一隻認メ居ラス</p> <p>右ヲ敵背ト誤リタル疑濃厚ナリ掃蕩中止</p> <p>異狀ナシ</p>
<p>電信</p>	<p>電信</p>	<p>電信</p>	<p>電</p>

1890

222

$\frac{P}{2YB}$ 一六四一	$\frac{P}{KdB}$ 一一三三	$\frac{P}{4Jf}$ 一一三三	$\frac{P}{4/dg}$ 一九四三
$\frac{P}{15d}$ (通報) 樞 $\frac{P}{4/dg}$ $\frac{P}{KdB}$ 634 58	$\frac{P}{GF}$ (通報) $\frac{P}{5f}$ $\frac{P}{2AF}$ $\frac{P}{15d}$	$\frac{P}{2AF}$ (通報) $\frac{P}{KdB}$ $\frac{P}{2YB}$ $\frac{P}{15d}$	$\frac{P}{105}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{2YB}$ $\frac{P}{KdB}$ 2F 15 部隊 大平洋方面作戦 榎吳鎮長官
<p>2YB 機密第一四一六四一番電 第二遊撃部隊電令作第六號 一霜月八第二遊撃部隊信電令作第五號ニ 拘ラス引續キ六五三空基地轉進ニ協カスベ</p>	<p>KdB 機密第一二二二番電 機動部隊電令作第五號 第二遊撃部隊指揮官ハ駆逐艦ニ隻ヲ速ニ大 分沖ニ同航待機セラルベシ 六五三空基地転進ニ協カノ事定</p>	<p>4Jf 機密第一三三三番電 霜月八爾後ノ台湾方面ヘノ転進(情況ニ依リテハ 基地復歸)ノ爲鹿兒島灣着後同地ニ待機セ シルニ要アリト認ム</p>	<p>4/dg 機密第一一九四一番電 冬月一九三五右艦首ニ雷撃一本ヲ受ケ揚 機ヨリ前方切斷セルモノ四節航行差支ケシ 地災ノ357 E 138 J 友ケ島水道ニ向フ</p>
信	電 信	電 信	電 信

P 復名	冬月 一六五三	R 6/dg 一三三三	P KdB 一四一四	
IYB 一六〇〇	P 2/B 4/dg R P KdB	六五三空、吳通 任通、霜月 二二二五	卸下、吳鎮P （通報） KdB P R 大海	
機トナセ 第一戦備（機関待機別令）魚雷ハ六時間待	冬月機密第一六一六五三番電 本艦損所調査、為本十六日ヨリ二〇日頃迄 吳工廠第三船渠ニ入渠ス IYB信令第一七〇號	初月一五日、四三。七五注着、予定、一四日一五〇〇吳通 信系ヨ去リ任世保通信系ニ入ル	機密第一四一三三番電 機動部隊電令作第五六號 第十一水雷戦隊、第六十一駆逐隊、第四工駆逐隊 機動部隊本隊ニ編入ス	三初月ハ否注？ 三榎ハ初月ト任務交代可能トラバ任務引継 キ後岩國沖放投スベシ KdB機密第一四一四一三番電
信 號	電 信	電 信	電 信	電

<p>0 八 三五</p> <p>P GF</p>	<p>一 三 七</p> <p>P KdB</p>	<p>一 四 六 五</p> <p>P GF</p>
<p>PP (通報) GF P CSF 各鎮 P</p> <p>SP GF 除 外 AF</p>	<p>若月 杉 涼 月 通報</p> <p>大 海 高 警 長 官 鹿 野 中 秋 月 吳 鑑 長 官 志 雅 中 秋 月</p> <p>P P P 2AF 9F 5F P P P 13af 13af 13af R P P 6af 35af 13af</p>	<p>新 竹 中 P P (通報) 2AF 9F P P CSF 海 南 空 南</p> <p>P KdB P 2F</p>
<p>提 一 號 作 戰 警 戒</p> <p>聯 合 艦 隊 電 令 作 第 三 五 一 號</p> <p>GF 機 密 第 一 七 〇 八 三 五 番 電</p>	<p>機 動 部 隊 電 令 作 第 五 九 號</p> <p>機 動 部 隊 電 令 作 第 五 八 號 ヲ 取 消 ス</p> <p>若 月 中 德 山 二 於 テ 補 給 上 機 動 部 隊 本 隊 電</p> <p>令 作 第 七 號 二 應 ス ル 如 ク 行 動 ス ベシ</p> <p>KdB 機 密 第 一 七 〇 三 三 番 電</p>	<p>第 一 遊 擊 部 隊 八 至 急 出 擊 準 備 ヲ ナセ</p> <p>聯 合 艦 隊 電 令 作 第 三 五 〇 號</p> <p>GF 機 密 第 一 六 一 四 〇 五 番 電</p>
<p>電 信</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>

6880

<p>$\frac{P}{1YB}$</p>	<p>$\frac{P}{1YB}$</p>	<p>$\frac{P}{GF}$</p>	<p>$\frac{P}{KdB}$</p>
<p>1YB</p>	<p>雄丸 矢野</p>	<p>GF GF GF</p>	<p>若月 京月 通報 GF GF GF</p>
<p>第三艦隊区分トナセ</p>	<p>雄丸ハ八紘丸ヲ擇取及第十戰隊ノ駆逐艦ニ隻ハ 先任指揮官之ヲ指揮シ燃料滿載次第トナル テニ進出待機スベシ</p>	<p>GF機密第一七。九三八番電 聯合艦隊電令作第三五三號 第一遊撃部隊ハ速ニ出撃ヲラルテニ進出スベシ</p>	<p>KdB機密第一六。八五六番電 機動部隊信電令作第八號 若月京月ハ先任艦長之ヲ指揮 六五三空人員 並ニ基地物件ヲ速ニ高雄ニ輸送シテ後内海西 部ニ歸投スベシ</p>
<p>信號</p>	<p>信號</p>	<p>電信</p>	<p>電信</p>

<p>シキ 1YB</p>	<p>P 1YB</p>
<p>艦 D</p>	<p>海軍 大連 部 長 通 報 P 109 P 147 P 147</p>
<p>一 出撃要領 四 第二部隊先頭隊出港時刻 十八日 〇〇〇〇</p> <p>四 出港順序 第二部隊 (指揮官所定) 第三水雷戦隊 第五戦隊 第十六戦隊 第四戦隊 第二戦隊 第一戦隊 順</p> <p>一 アトミラリス テリングワロ 北方附近ニ至ラバ 令ナ ツシテ 第18警戒航行序列針路六五度 速力 一八節トス</p> <p>四 予定航路 C1 C2ヲ経テ アルネイニ至ル ニアルネイ 領地ヲ第一警戒地トス</p>	<p>機密第一七二二五番電</p> <p>第一遊撃部隊 電令作第五五號</p> <p>雄鳳丸 八絃丸 揮捉及 第十戦隊ノ 駆逐艦ニ 隻ハ 先任指揮官之ヲ 指揮シ 燃料満載次 序ニアルネイニ 進出待機トス</p> <p>附信令作第三號</p> <p>第一遊撃部隊ハ左ニ依リ コリンガ 出撃テ アルネイニ 進出ス</p>
<p>信</p>	<p>電 信</p>

<p>P 35</p>	<p>P GF</p>	<p>P K&B</p>
<p>愛宕 能代 (通報) 第二部隊 一七三〇</p>	<p>若月 涼月 (通報) 大島 戦 補給 部長 P 3AF P K&B 309 鹿島</p>	<p>若月 涼月 杉 (通報) P 103 P 457 A 409 P GF P 2AF P 5F 秋月 鹿島 艦長 大海 P 艦長 吳長官 高雄 空 鹿島 空</p>
<p>23 信令第一號 第一遊撃部隊 信令作第三號ニ依ル第二部隊ノ出港 ニ関シ左ノ通定ハ 一 出港順序 第十戰隊 第七戰隊 第三戰隊 二 三戰隊 出港 針路 一四五度</p>	<p>聯合艦隊 電令 第四六六號 若月 涼月 ハ 搭載 物件 ヲ 鹿島 島ニ於テ 鹿島 艦 ニ 移載 シ 上内海 西部ニ 投スベシ 鹿島 及 海軍 搭載力 不足ノ 場合ニハ 台湾 行 封 空 兵器 彈藥ノ 一部ヲ 卸スモ ノトス</p>	<p>K&B 機密 第一七〇六三三番 電 機動部隊 電令 作 第五八號 一 杉ハ 任務 終了セバ 連ニ 吳ニ 同航 スベシ 二 涼月ハ 吳ニ 同航 搭載 人員 物件 ヲ 杉ニ 移 載 スベシ 三 若月 杉ハ 若月 駆逐 艦長之ヲ 指揮シ 搭載 人員 物件 ヲ 連ニ 高雄ニ 輸送 スベシ</p>
<p>號</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>

<p>三二七 〇</p>	<p>P 3S</p>	<p>シF 1YB</p>	
<p>機動部隊本隊 (通報) P 315 三二七 〇</p>	<p>2B</p>	<p>1YB</p>	<p>二〇一 四七 〇</p>
<p>機動部隊電令作第七號 一三航戰四航戰(六三四空欠)三十一戰隊(一部欠)大 走第十六駆逐隊(涼月初日)第廿駆逐隊(又)</p>	<p>出撃後第二部隊、警戒三関シテ、通定ハ 一艦内哨戒持令スル場合、外各隊指揮官(三戰隊 ハ各艦長)所定 二艇哨戒 三砲地水道出入時及夜間公常時其、他、時機ハ 各隊指揮官(三戰隊、各艦長)所定</p>	<p>2B 信令第三號 出撃後電波哨戒第二警戒配備 (日出二時間前ヨリ日没三十分後迄探信實施)ト ナセ晝間ハ電測放練ヲ實施差支ナシ</p>	<p>四警戒本港第二法 二、デンプ水道通過時ヨリB1警戒航行序列占位 迄先頭隊御向導セヨ</p>
<p>信</p>	<p>信 號</p>	<p>信 號</p>	<p>信</p>

<p>4dg</p> <p>ニニ 四七 五</p>	<p>GF</p> <p>ニ 一 五</p>	<p>kdB</p>
<p>九〇空 三三派遣隊</p> <p>1000P</p> <p>通報</p> <p>1000P</p> <p>1000P</p> <p>1000P</p> <p>1000P</p> <p>1000P</p>	<p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p> <p>度島 石月</p>	<p>総長 外</p> <p>GF</p> <p>GF</p> <p>GF</p> <p>GF</p> <p>GF</p> <p>GF</p> <p>GF</p>
<p>機密第一七三四五番電</p> <p>第四駆逐隊(高瀬野分) 掃艇 碓圓丸、八紘丸</p> <p>行動三予定</p> <p>一八日一〇。昭南海峽東口発 二一日一〇。コッブ</p> <p>ルネイ着</p> <p>正午位置 一九日三度。分北一〇八度三分東</p> <p>二〇日四度三分北 二二度五。分東</p>	<p>GF機密第一七三四五番電</p> <p>聯合艦隊電令第四七一號</p> <p>聯合艦隊第四六六號ヲ取消ス</p> <p>度島四十三駆逐隊ハ三定ノ如ク行動スベシ</p>	<p>月夕ハ速ニ出撃準備ヲ完成シ八島锚地ニ集合スベシ</p> <p>二六五三空中 大分鹿兒島基地方面残留兵力</p> <p>及六〇一空中 着発艦可能兵力ハ別ニ定ムル</p> <p>所ニ依リ之ヲ三航戦ニ收容スベシ</p> <p>三、尔余ノ隊艦ハ現任務ヲ續行スベシ</p>
<p>電</p>	<p>信</p>	<p>電</p>

P kdB	シキ IYB	P GF
大専 高警 $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{GF}$ (通報) 2B 2F KdB 本隊	一九三五 一九三五	GF 各PP 海護隊各PP CSF 各P
二 第三遊撃部隊ハ、 X日トス 機動部隊本隊、行動予定機密第一九。入三一 番電ノ通、X日及至、非島北東海面ニ進出 航空攻撃ヲ開始ス(第一遊撃部隊突入日ヲ 戦ノ心成ヲ期スルト共ニ、敵掃滅ニ任ス 本隊ニ策應敵機動兵力ヲ非島東方海面ヨリ 北方ニ牽制誘出シ、第一遊撃部隊、突入作 戦ノ心成ヲ期スルト共ニ、敵掃滅ニ任ス 機動部隊本隊、行動予定機密第一九。入三一 番電ノ通、X日及至、非島北東海面ニ進出 航空攻撃ヲ開始ス(第一遊撃部隊突入日ヲ X日トス)	KdB 電令作第六三號 第一遊撃部隊本職、指揮下ニ復歸後、機動 部隊、作戰ハ機動部隊捷號作戰要領ニ依ル、 外左、通第二部隊ハ、海峡東方ニ進出後 本隊ニ策應敵機動兵力ヲ非島東方海面ヨリ 北方ニ牽制誘出シ、第一遊撃部隊、突入作 戦ノ心成ヲ期スルト共ニ、敵掃滅ニ任ス 機動部隊本隊、行動予定機密第一九。入三一 番電ノ通、X日及至、非島北東海面ニ進出 航空攻撃ヲ開始ス(第一遊撃部隊突入日ヲ X日トス)	GF 電令作第三六。號 捷一號作戰發動一七三三 聯合艦隊電令作第三二六。號 捷一號作戰發動
信	信號	電信

<p>□ 1YB</p>	
<p>1YB</p> <p style="text-align: right;">一〇〇〇〇</p>	
<p>1YB 信令第一八三號</p> <p>左ニ依リ急速補給ヲナセ</p> <p>一 巡洋艦以下滿載</p> <p>二 第一水雷戰隊ハ七和第十戰隊(高朝野分久)及 鳥海ハ武藏ニ横付摩耶ハ第四戰隊一隊ニ供 給 上雄閑丸ニ横付最上ハ妙高羽黒ニ供給ノ 上ハ紅丸ニ横付利根ハ熊野玲谷筑摩ニ供</p>	<p>牽制ニシテ(偽電實施)機動部隊本隊ノ北方 ヨリスル側倒航空攻撃ヲ必成ヲ期スルト共ニ 爾後機動部隊本隊ノ前衛トナル如ク行動 ス</p> <p>三 件機ヲ捕捉セバ機動部隊第二遊撃部隊 全カヲ擧ゲテ敵トノ決戦ヲ期ス</p> <p>四 敵情ニ依リ第一部隊ヲシテホルン之東方海面 ニ進出セシム</p> <p>五 機宜四航戰。六十一駆逐隊 四一駆逐隊ヲ第 二遊撃部隊ニ編入敵水上兵力トノ決戦ニ備 フ</p>
<p>號</p>	<p>電</p>

<p>P 10.9</p>	<p>P 10.9</p>	<p>YB</p>	
<p>大和 受着 (通報) 10.9</p>	<p>愛宕 雄風丸 (通報) 10.9</p>	<p>P 10.9</p>	
<p>三北哨戒隊指揮官ハ北第一哨艦々長トス 三電取哨戒第二警戒配備交代要領ハ信令 第一六二號ヲ其ノ儘統行ス 間待機トス 當直一二。現場交代機関待機一二節ニ。分 一北第一哨艦ヲ磯風山雲長風朝雲ノ順ニ一日 ヲルネシ泊地警戒要領中</p>	<p>第十戰隊信令第一六三號 第一遊撃部隊電令作五五號ニ依ル駆逐艦ヲ四 駆(滿潮野分)ニ指令ス 10.9 信令第一六三號</p>	<p>第十戰隊司令官ハ駆逐艦ニ隻ヲシテ八紘丸船 團ニ合同之ガ護衛ヲ協力セシムベシ YB 信令特第一四〇號</p>	<p>給、上式載ニ横付滿潮ハ全剛野分ハ横名ニ横付 八紘丸ハ式載ニ雄風丸ハ大和ニ横付 三戰艦、補給ハ後令ス 四八紘丸雄風丸ヲ一日一セ。入港ノ予定</p>
<p>信</p>	<p>號</p>	<p>信號</p>	<p>信</p>

<p>0930</p> <p>1KdF</p>	<p>11B</p>
<p>各領各警 （通報） 海護給部隊</p>	<p>天劍能野 （通報）</p>
<p>機動部隊本隊（三航戰空母四隻）日向伊勢大淀 輕巡二隻 駆逐艦八隻） 左二依り出撃南下二。月一八。豊後水道発 二一日。六。〇。 29' 15' E 133' 46' 二二日。六。〇。 25' 20' E 129' 15' 二三日海上洋上補給 二三日。六。〇。 22' 16' E 127' 示後 海峽東方ニ至リ索敵警戒味方識別ニ関</p>	<p>11B 信令特第一四一號 準備出来次第発進雄風丸船団ノ對テ警戒ヲ ナシ （1）前路警戒隊ニ配備 （2）船団基準針路七。度 （3）航行搜索側程ナシ （4）船団ヲ発見セバ報告球増派駆逐艦ニ對シ 位置ヲ通報 （5）警戒隊機派出担任能代天劍各一機</p>
<p>電</p>	<p>信 號</p>

8880

234

<p>二二二 一一九</p>	<p>サチ 5F</p>	<p>シキ CB</p>	<p>二二二 一一九</p>
<p>八〇一 一三五〇</p>	<p>通報 GF P YB</p>	<p>通報 GF P YB</p>	<p>〇七〇〇</p>
<p>西方部隊電令作 第一七二號 九三六部隊 信</p>	<p>第一遊撃部隊ノ航路ヲ定知ラサレ度 ニテ南下ニテ四日ニ五ノ頃「ミンダナオ」海西口ヲ経 運爾後「スール」海ノ北方海面ヲ實速ニ六節 ニテ三日一五〇〇「ミンダナオ」カラ「ボラ」燈台ノ南ニ 實施スル場合ノ航路ヲ定左ノ通 一 第一遊撃部隊（三戰隊一水戰）突入作戰ヲ 二 機密第一ニ〇一九三ニ番電</p>	<p>シ徹底ヲ得度 CB機密第一ニ〇二三二九番電 「モロタイ」基地哨戒機ハ二四五ヨリ一六三五迄ニ「フィ」 九通発信其ノ内容味方部隊発見報地点 経度不明ナルモ緯度五度ナリ 第一遊撃部 隊被発見ノ算大ナリ尚電報ハ「ホル」ニ「アド ミラル」テ「放」送ニ掛ケ今次作戰部隊一般及 「ニエ」キ「ア」方面最高指揮官ニ転送セラレアリ</p>	<p>電</p>

direct to base 0580 ~35

シキ 2B	シキ 2B	R 11/9	二二 四五	要方部隊 (通報)
B 通報 清霜	B 通報 清霜	矢野 四野	YB 一六二	YB 山空
2B 信令第六號 清霜ヲ第十戦隊司令官 座下ニ入ル	2B 信令第七號 機第一遊撃部隊命令作第四號ニ依ルコトヲ了 出撃ニ関シ左ノ通り定ム 一 第一部隊ニ引續キ出巻 二 出巻順序、十戦隊、七戦隊、三戦隊 湾口通過後 令テクニテ第B1警戒航行序列ニ占位スベシ	當隊艦船番號ヲ浦風磯風雪風ニ改ム	行機密第二二一四五番電 敵偵察機ヨリ第一遊撃部隊ヲ発見報告セル模様 ナリ故言ヲ嚴ニモラレ度	指揮官ハ南西部隊電令作第六七五號ニヨ リ水上偵察機(六機)ヲ速ニコラブアンニ派遣シ 第一遊撃部隊ノ出撃ニ應ジ非島方面ニ進出セ シムベシ
信號	信號	信號	電信	電

<p>一九二一 四</p> <p>廿四 GKF</p>	<p>〇 八 一 二 二</p> <p>P 105</p>	<p>廿四 GF</p> <p>三二五二</p>
<p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>要電報 (通報)</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p>	<p>清霜</p> <p>105</p>	<p>通報</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p> <p>P 105</p>
<p>二 次 戰 一 段 落 後 ノ 情 況 ニ 依 リ 三 一 戰 隊 一 水 戰 十 六 戰 隊 其 他 兵 力 ヲ ツ テ 第 二 次 輸 送 ヲ 企 圖 認 ム</p> <p>南 西 方 面 部 隊 機 密 第 二 九 一 番 電 関 聯 適 宜 作 戦 指 導 ニ 関 ス ル 南 方 面 意 見 左 ノ 通 一 三 一 戰 隊 一 水 戰 一 第 一 遊 撃 部 隊 指 揮 下 ニ 入 リ 決 戦 ニ 加 入 ス リ ガ オ 海 峽 ヨ リ 突 入 ス ル ヲ 可 ト</p>	<p>逐 艦 長 ト ム</p> <p>野 分 清 霜 ヲ 三 番 隊 ト シ 指 揮 官 ヲ 野 分 駆 逐 艦 長 ト ム</p> <p>機 密 第 二 一 九 一 四</p>	<p>廿 二 日 〇 〇 〇 北 緯 三 度 四 五 分 東 經 一 三 度 五 〇 分 於 テ 敵 潛 緊 急 信 発 信 ノ 状 況 ニ モ 鑑 ミ 敵 八 相 當 數 ノ 清 水 艦 ヲ 水 道 及 主 要 航 路 ニ 配 シ 第 一 遊 撃 部 隊 等 ノ 動 静 ヲ 偵 知 セ バ 其 ノ 前 程 ニ 集 結 待 機 ス ル 算 大 ツ ル ニ 付 晝 夜 ニ 巨 巨 敵 潛 制 圧 ニ 関 シ 特 ニ 配 慮 ア リ 度</p> <p>機 密 第 一 六 五 號</p>
<p>電</p>	<p>信 號</p>	<p>電 信</p>

<p>#4 GF</p>	<p>GF</p>	<p>二二二 一六五五</p>
<p>空母 I 隊 シキ</p>	<p>特別重要電報</p>	<p>GF GF GF</p>
<p>友軍機動部隊本隊(空母四)戦艦二、巡洋艦三、駆逐艦八、第一機動艦隊機密第一二九三。番電ニ依ル、外左ノ概航路ヲ行動スル</p>	<p>副ヒ奉ランコトヲ期ス</p> <p>捷號作戦劈頭ニ於テ御稜威ノ下緒戦有利ニ展開シ畏クモ優渥ナル勅語ヲ賜リタルハ本職ノ恐懼感激ニ堪ヘザル所ナリ今マ捷號決戦ノ神機日捷ニ迫リ本職ハ陸軍ト緊密ニ協同指揮下全兵力ヲ擧ゲテ之ニ臨ミトス全將兵茲ニ死所ヲ逸セザレ、覺悟ヲ新ニシ殊ニ奮戦以テ敵ヲ殲滅シ皇恩ニ報ズベシ本職ハ皇國興廢ノ関頭ニ立ナシ神靈ノ加護ヲ信ジ將兵一同ノ必死体當リ、勇戦ニ依リ誓ヒテ敵ヲ殲滅シテ聖ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス</p>	<p>ス</p> <p>三、十六戦隊「カナルネ」出撃後、情況ニ依リ「マニラ」寄港ヲ取止メ「カガヤシ」直航差支ナシ</p>
<p>信</p>	<p>電</p>	<p>信</p>

<p>〇五二二 〇五三五</p>	<p>二〇四〇 大和通信 隊司令</p>	<p>一七四〇 廿四 GF</p>	
<p>各P GF P CSF P GFB</p>	<p>二〇四〇 二〇四〇 二〇四〇 二〇四〇 二〇四〇 二〇四〇</p>	<p>二〇三三 二〇三一 二〇三一 二〇三一 二〇三一</p>	<p>(通策) P GF</p>
<p>リタリ 勅語 GF機密第一二〇九三五番電 一月二十一日聯合艦隊司令長官ニ對シテ、勅語ヲ賜</p>	<p>一七八八潜水艦YYOA V. 10 E 116 精度 B 緊急通信一通送信ス</p>	<p>第一遊撃部隊 第二遊撃部隊ハ二十四日昼間「 ブヤン」海「スル」海ヲ遊撃スルニ付味方打ヲ避ク ル為貴隊航空機ハ直衛機、外其ノ上空ヲ通 過セラル様指導アリ度 尚本件陸軍側ニ連絡 セラレ度</p>	<p>コトアリ基地航空部隊搭乗員ヲシテ味方識 別ニ関シ徹底ヒレメ置カレ度 二十日。六〇〇。分ニ四度ニ。分E一三ニ度一五分 速ニ洋上補給ノ上ニ三日。六。分。分 E一三七度。分ニ至リ對敵行動實施</p>
<p>信</p>	<p>電信</p>	<p>電</p>	<p>信</p>

<p>323 324 YSB</p>	<p>飛行場 クラニテ</p>	<p>一六〇六 P IYB</p>
<p>軍司令部次長 P/KAF P/2AF P/8PP P/YSB P/2S P/GF P/P P/4F (通報) P/5F P/16S</p>	<p>P/2AF P/KAF P/4AB</p>	<p>一五二五 IYB</p>
<p>YSB 機密 第三一〇〇番電 南西方面部隊電令作第六八七號 一三三三日一三〇〇以後 第三遊撃部隊ノ軍隊区分ヲ 左ノ通トス (区分指揮官兵力ノ順) 一 第三遊撃部隊本隊 第五艦隊司令長官 二 第一戰隊 二水戰 三 警戒部隊 第十六戰隊司令官 十六戰隊</p>	<p>テ不良視界皆無 見セル敵部隊ノ兵力ハ巡改空母一持空母一戰艦又ハ巡洋艦ニ隻馳逐艦數隻針路一八〇度速力十六節 天候曇視界十哩所々ニ「スコール」アリ「カマル」島東方 龍風性低氣圧「アルモノ」如ク「カタン」タネ「島」ヨリ二〇度一五〇度間 天候極メ</p>	<p>〇二五〇作戦特別緊急信ヲ送信中ノ潜水艦電波 八四七〇 KCヲ探知ス 惑三 (極メテ大) 三ニテ飛行場機密 第二一六〇六番電 △哨区哨戒速報 (二十二日) 其一ニ 〇九〇〇「マニラ」ハ七度三三〇理ノ地点ニ「L20」ノ発見セル敵部隊ノ兵力ハ巡改空母一持空母一戰艦又ハ巡洋艦ニ隻馳逐艦數隻針路一八〇度速力十六節 天候曇視界十哩所々ニ「スコール」アリ「カマル」島東方 龍風性低氣圧「アルモノ」如ク「カタン」タネ「島」ヨリ二〇度一五〇度間 天候極メ</p>
<p>信</p>	<p>電</p>	<p>信 號</p>

<p>123 124 125 126</p>	<p>123 124 125 126</p>	
<p>9549 9550</p>	<p>123 124 125 126</p>	
<p>南西方面部隊電令作第六八八號 二四日、封鎖警戒ハ左ニ依リ實施スベシ</p>	<p>二各任務機共第三待機 四榮敵兼封鎖警戒待機第三偵察隊 NB機密第一二二二三五四番電</p>	<p>（輸送艦五隻、二四日、編入、予定） 二第三遊撃部隊本隊ハ指揮官所定ニ依ル本 隊行動三五日（如物黎明「スリガオ」海峡「イテ」灣 ニ進入第一遊撃部隊、作戰ニ策應同方面所 在敵攻勢部隊ヲ畏威スルト共ニ間接ニ警戒 部隊、行動ヲ掩護スベシ 三警戒部隊ハ南西方面部隊電令作第六八四 號ニ依リ行動陸軍部隊輸送揚陸ニ任スベシ NB信令第一九二號 一二日飛行機應急使用区分左ノ通 一、封鎖直衛機ハ六配備一組第五戰隊ニ、島海一 二組七戰隊三、三組能代一、矢野二 四組七戰隊三</p>
<p>信</p>	<p>信</p>	<p>電</p>

<p>三〇三 六</p> <p>GF</p>	<p>一五五 五</p> <p>P 2.S</p>	<p>一三三 三</p> <p>GF 2AF</p>
<p>本對參謀部長</p> <p>P/GKF P/AF</p> <p>P/AF P/2AF</p> <p>P/AF P/2AF</p> <p>P/AF P/2AF</p> <p>P/AF P/2AF</p> <p>P/AF P/2AF</p>	<p>33kg</p> <p>通報</p> <p>サンタン飛行機</p> <p>11.S AFB 甲 B</p> <p>P/GKF P/AF</p> <p>P/GKF P/AF</p> <p>P/GKF P/AF</p>	<p>通報</p> <p>P/AF P/AF P/AF</p>
<p>GF機密第二三三〇六番電</p> <p>明二十四日以後特ニF、L哨已、哨戒並ニ偵察状況ハ機動部隊本隊、第一遊撃部隊、第一遊撃部隊ニ速報方取計ハレ度</p>	<p>沿ヒニテ進撃ヲX。一。コビニツマ岬南方ニ達シ針路三五。度ニテコレイテ灣ニ突入ス</p> <p>第一遊撃部隊、第三部隊、(第二戰隊)最上、第四驅逐隊(欠野分)時、兩行動要領</p> <p>X子コレイニ出撃ニ三。コババツク海峡通過針路五。度ニテX。一。六三。一。度ニ。分北一ニ度三五分東ヨリ針路一回。度爾後「ミンダナオ」海北岸</p>	<p>一九五四部隊主力ヲ以テ第一遊撃部隊主力一部ヲ以テ第二遊撃部隊及十六戰隊警戒</p> <p>一九五五部隊主力ヲ以テ第一遊撃部隊、支隊一部ヲ以テ第二遊撃部隊ヲ警戒</p> <p>2.S機密第二三三〇五番電</p>
<p>電 信</p>	<p>電 信</p>	<p>電</p>

<p>P 1YB</p>	<p>二四 〇一三四 一三七</p>	<p>P 16S</p>
<p>1YB</p>	<p>二四 〇七三〇</p>	<p>P GF P 5F P GF</p>
<p>二四日 索敵配備指令 一 派出隊発進時刻 第三戦隊 鳥海 鈴谷 第二水雷戦隊 第十戦隊 二 索敵法 第一三法 三 索敵線 配分 一番線 全剛機 二番線 棲名機 三番線 鳥海機 四番線 鈴屋機 五番線 能代機 六 七番線 天剣二機 四 搜索基準線 七五度 基真(ト)ノ鳥 (二) 二度五六分北(一) 三三度四分東 L 三。埋開角一。度 側程二。埋</p>	<p>電探ニ依リ敵大部隊ヲ探知ス Lラニシヤ 〇〇二〇</p>	<p>16S 機 表 第三三三。三五番電 鬼 青葉ヲ申航「マニラ」着</p>
<p>信</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>

<p>P 105</p>	<p>P 天和</p>	<p>P 116</p>	<p>兵風</p>	<p>清相</p>
<p>P 大和</p> <p>P 金剛</p>	<p>(艦)</p>	<p>105</p>	<p>105</p>	<p>金剛能代更別 大和早霜野分</p>
<p>三揚油機 水則兵器破損ノ外人員兵器異 状ナシ</p> <p>壁補強中</p> <p>一級孔右舷前部水線上長サ三米以上高サ 二米 平木ニ三節ニテ海水侵入水線下若 干重油漏洩ニ三番ビームヨリ前方海水隔</p>	<p>敵、空襲状況ニ鑑ミ暫ク友隊ノ攻撃成果ヲ 待ツ爲一時西方ニ避退機宜行動ス</p> <p>至近海ニ休ル夫知被害口情况</p>	<p>第一部隊ハ概ネ逆航路ヲ取り「タグラス」海 峽ニ向ヘ</p>	<p>至近海ニ依リ兵折損重油漏洩炉内爆発ノ 爲火災</p>	<p>出シ得ル最大速力ニ一節一聯管破壊今 ノ所無線聯絡不能</p> <p>任務終了後「サンホセ」基地帰投</p>
<p>信 號</p>	<p>信 號</p>	<p>信 號</p>	<p>信 號</p>	<p>信 號</p>

<p>$\frac{P}{1YB}$</p>	<p>矢矧 二四</p>	<p>$\frac{シキ}{1YB}$</p>	<p>金剛 二四</p>
<p>$\frac{P}{AB}$ $\frac{P}{2YB}$ $\frac{P}{GF}$ 総長 通報)</p>	<p>浦風 三三 三六</p>	<p>矢矧 シキ 2B 風能代</p>	<p>2B 火口 通報)</p>
<p>YB機密第五三三の番電 朝来、敵機動部隊の撃破後新二北方、敵機動 部隊に向ヒタルモ敵ハ及獲空襲シヨシ我ガ東方ヲ南下 セルト 隊ノ成果はニ保有燃料ニ儘、夜戦實施ノ見込 タズ、ニ。三。ロ。サンバルナルノ水道ヲ経テ補給地(コロン ニ向フ 二二。四</p>	<p>矢矧至近彈ニ依リ出シ得ル最大運力ニ二節</p>	<p>一、我艦ハ武蔵艦長ノ命ヲ受ケ同艦ノ警戒ニ當レ ニ島風ノ武蔵艦長任務ヲ解ク</p>	<p>2B被弾ノ概要 一、矢矧右舷艦首至近彈ニ依リ水線破孔 (径ニ米) 錨鎖庫灌水 二、清霜先ノ信號通 三、浜風ニ在室火災使用不能</p>
<p>電</p>	<p>信號</p>	<p>信號</p>	<p>信號</p>

P 六五五 105	P 六五五 105	P 六五五 105	P 六五五 11B	P 四五五 2YB	P 四五五 2S
<p>(通報) 捷陸部隊</p> <p>GF P AF P 2AF</p>	<p>105</p>	<p>105</p>	<p>(四)</p>	<p>(通報) 捷陸部隊</p> <p>GF P AF P GF</p> <p>作戦関係 重要電報</p>	<p>2YB 1YB</p>
<p>敵空母三隻見ユ其ノ他約一。更ニスリトシ燈台ヨリ 方位一。度七。湮</p>	<p>戦闘砲戦魚雷戦用意</p>	<p>最大戦速即時待機トナセ</p>	<p>最大戦速即時待機トナセ</p>	<p>當隊襲撃終了一應戰場ヲ離脱シ後図ヲ策ス</p>	<p>2S機巻第ニ五。三三。番電</p> <p>戦闘速報第ニ號</p> <p>スリガオ水道ノ北口兩側ニ敵駆逐艦魚雷艇下 リ味方駆逐艦ニ被雷遊ヤ中山被雷一戦闘 航海ニ支障ナシ</p>
電信	電話	電話	信號	電信	電信

$\frac{P}{IYB}$ 0.75	$\frac{P}{IYB}$ 0.85	$\frac{P}{IYB}$ 0.75	鈴谷	$\frac{P}{IYB}$ 0.75	$\frac{P}{Ios}$ 0.5	$\frac{P}{Ios}$ 0.75	$\frac{P}{Ios}$ 0.65
IYB 戦艦	IYB 戦艦	IYB 戦艦	IYB	(四)	Ios 25d	通 24F 持 号 部隊	$\frac{P}{IYB}$ $\frac{P}{GF}$ $\frac{P}{AF}$
我敵空母一隻轟沈セリ IYB機密第ニ五〇七三六番電	全軍突撃セヨ IYB機密第ニ五〇八〇番電	我巡洋艦一隻ヲ轟沈セリ IYB機密第ニ五〇七三五番電	敵ノ兵力ハ九隻ナリ	各隊ハ全カヲ擧ゲテ東	水戦ハ後ヨリ續行セヨ	敵ハ面舵ニ又転飛行機ヲ発艦シツミナリ IYB機密第ニ五〇七〇一番電	敵艦約一。内空母三見ユ
電信	電信	電信	電話	信號	電話	電信	信號

23

$\frac{P}{17B} \begin{matrix} 〇九二五 \\ 二五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{10.5} \begin{matrix} 〇九二五 \\ 二五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{10.5} \begin{matrix} 〇九〇五 \\ 二五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{10.5} \begin{matrix} 〇八五五 \\ 二五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{10.5} \begin{matrix} 〇八五五 \\ 二五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{10.5}$	$\frac{P}{GF} \begin{matrix} 〇七三五 \\ 八四五〇 \end{matrix}$	$\frac{P}{17B} \begin{matrix} 〇八三五 \\ 二五〇 \end{matrix}$
$17B \begin{matrix} 〇九三五 \\ 〇 \end{matrix}$	$17B$	$17B \begin{matrix} 〇九三五 \\ 〇 \end{matrix}$	$17B \begin{matrix} 〇八三五 \\ 〇 \end{matrix}$	$17B \begin{matrix} 〇八三五 \\ 〇 \end{matrix}$	$10.5 \begin{matrix} 〇八三五 \\ 〇 \end{matrix}$	$GF \begin{matrix} 〇八四五 \\ 〇 \end{matrix}$	$17B \begin{matrix} 〇八三五 \\ 〇 \end{matrix}$
逐次集ル我の九〇〇位置ヤロセヨ	我敵正規空母一隻轟沈一隻大火災	敵空母ヲ雷撃手中	突撃手セヨ	我空母二隻ニ突撃ス	空母二隻我ヨリノ方位三一〇度距離ニ万米	GF機密第一二五〇七三八番電 第一遊撃部隊ハ〇六五三「サマル」島北東海面ニ於テ敵空母三ヲ発見シ砲戦ヲ開始セリ ニ全軍右ニ策應敵空母ヲ攻撃セヨ	敵空母一大火災
電信	電信	電話	電話	電話	電話	電信	電信

<p style="text-align: center;">P 10.8</p>	<p style="text-align: center;">P 10.8</p>	<p style="text-align: center;">P 10.8</p>
<p style="text-align: center;">(通報) 水偵基地 飛行基地 飛行場</p>	<p style="text-align: center;">(通報) 雪風 P 10.8</p>	<p style="text-align: center;">P 大和 P 金剛</p>
<p>第一遊撃部隊戦術速達(其ノ二) 一、今迄ノ所判明セリ戦果 撃沈 空母三隻至四隻(内エンタープライズ型一ヲ含む) 甲級巡洋艦ニ隻 駆逐艦一隻 命中弾確實ナルモノ 空母一ト至ニ敵機及 復來艦中残敵空母六ト七基幹ハスール 及煙幕ヲ利用南東方向ニ避退セリ被害大 ナルモノ 島海 筑摩等 熊野 其他調査中 二、我ハ北進中</p>	<p>雪風ハ鈴谷ノ救助ニ當レ</p>	<p>一、當隊戦果 エンタープライズ型空母 撃沈一大破一(撃沈 殆ド確實) 駆逐艦撃沈三 二、被害 矢矧被弾戦闘航海差支ナシ</p>
<p style="text-align: center;">電</p>	<p style="text-align: center;">信 號</p>	<p style="text-align: center;">電 信</p>

<p>戸 GF</p> <p>一六四五 一四七</p>	<p>戸 YB</p> <p>二五</p>	<p>戸 GF</p> <p>二二五 一</p>	<p>戸 YB</p> <p>二二五</p>
<p>通報</p> <p>戸 YB</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 AF</p> <p>戸 AF</p> <p>戸 AF</p> <p>一五 一五 一五 一五</p>	<p>(二)</p> <p>一七二五 一七二三</p>	<p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>戸 GF</p> <p>一五 一五 一五 一五 一五 一五</p>	<p>野分 筑摩</p> <p>一五 一五</p>
<p>GF機密第一五二一六四七番電</p> <p>GF電令作第三七四號</p> <p>第一遊撃部隊ハ今夜乗ズベキ好機アラバ残敵ヲ捕捉撃滅スベシ爾余ノ部隊ハ右ニ策</p>	<p>「サンベルナル」水道進入要領序列拾弉因ハ警戒戒艦救</p> <p>三戰隊(十戰隊駆逐艦三) 一戰隊(三水戰駆逐艦)</p> <p>二)五戰隊七戰隊(十戰隊) 二水戰能代 駆逐艦一間隔ハ成可ク小ナランメ各群各自ニ之字進動ヲ實施ス</p>	<p>GF機密第一五二一五一番電</p> <p>第一遊撃部隊ガ困難ナル情況ノ下敢然突進好機ヲ捉ヘテ偉大ナル戦果ヲ擧ゲツ、テハ大イニ可ナリ</p>	<p>YB機密第一五二二番電</p> <p>第一遊撃部隊電令第一二三號</p> <p>野分ハ筑摩ノ警戒艦トナレ筑摩ノ位置ヲクロバン、ガ一五五涅</p>
<p>信</p>	<p>信 號</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>

<p>雪風</p>	<p>一七二五 運令部 総長</p>	
<p>矢矧 浦風</p>	<p>二二三五 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF</p>	<p>二二三五 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF 浦GF</p>
<p>主砲四六二(九八) 機銃一〇〇〇〇(三二〇〇〇) (一) ナシ (二) ナシ (三) ナシ (四) ナシ</p>	<p>運令部機密第二五〇七五番電 本日は島方面ノ戦況ニ関シ表上セル所第一遊撃部隊ガ奮戦大ニ敵艦隊ヲ撃破セルヲ深ク御満足ニ思召サル、此ノ御言葉ヲ拝セリ (イ) 空母(エンタープライズ型)一連撃沈 (ロ) 新型(レインジャト型煙突一本)一火災 被害後戦艦一遊撃隊警戒 駆逐艦二(四二三五五七号)撃破 飛行機撃墜一(確認) 其他日撃手セルモノ大型空母一小破 特空母一沈没</p>	<p>應スヘシ 二合度々戦ノ見込ナケレバ機動部隊本隊第一遊撃部隊ハ各指揮官所定ニ依リ?</p>
<p>信</p>	<p>電</p>	<p>電</p>

<p>一七〇六</p>	<p>シキ IYB</p>	<p>浦風</p>
<p>二六</p>	<p>IYB</p>	<p>一四四六五 ノ 105</p>
<p>一 當隊戰果 雲壁 B-24 四機 艦上機 二五機以上 轟撃 潜水母二大巡一駆逐艦三(四一三、五五七号ハ 當隊砲臺他ノ防空駆逐艦一隻ハ他隊ト協 力)</p> <p>二 被害</p>	<p>ニ島風 岸波 浦風 秋霜 及ビ 浜波 ハ直ニ「ロ」 ニ 回航 急速 補給 (六割) ノ上 二七 日 一五。二 度 三。分 北 二 五 度 三。分 東 二 七 度 一 遊 撃 部 隊 ニ 合 同 ス ベ シ</p>	<p>一 母艦一隻 魚雷命中 二 大巡一隻 魚雷命中 車轉沈 発射時刻 〇九一五 命中時刻 〇九三三 〇九三五</p> <p>一 信令 第一九六號 一 第一遊撃部隊 信令 第一九六號 一 第一遊撃部隊 ハ日没頃 「ロ」 ナカニ 東方水道ヲ 通過シ 「ラ」 ノ北 西方海面ニ 出ル事定</p>
	<p>信 號</p>	<p>信 號</p>

P
10,5

P
1YB

中矢列

一爆彈至近彈ニ依リ船前部水線上破孔

ノ外小破孔無數揚子機水測兵器破

損三ニ番ボム前方海水一ニ番併管及

水測兵器使用不能

二士官室敵砲彈命中小破

三戰死四ニ重傷者四

四駆逐艦

浦風 同艦 タナ五六

磯風 雪風ハ大ナル損害ヲシ

浪風ニ士官室火災使用不能

三消耗彈(現在額)

矢列主砲通 三六七(三五三)

零式 二九五(三五)

高角砲 六〇〇(四〇〇)

機銃 三〇〇〇(二〇〇〇)

駆逐艦 浦風 磯風 雪風

主砲 一三〇〇(四〇〇)

西電

信

<p>秋月 一五二六 二二六</p>	<p>YB 二六</p>	
<p>61dy (通報) KMB P 108 P KMB</p>	<p>YB 一五二六 二四六</p>	
<p>二戰果撃手隊十三機 の八四。沈没セリ 。八三。聯管ニ大型爆弾一命中大破孔浸水 二十五日機動部隊本隊第一次來襲機ト交戦 秋月機隊ニ六二五八番電</p>	<p>第一遊撃部隊ハコロシ入泊ヲ取止メ本日夕刻 ヨリバカン島南口水道ヲ経テ新南群島通 過ニ入り夕刻「アロネ」着「三」定</p>	<p>四発射雷敷(現有雷敷) 矢矧七(九内三使用不能) 駆逐艦 一六(三三) 五補充ヲ要スルセリ 矢矧高角砲指揮官別的分隊士水雷分隊 士各一 高測二 普砲三 高水二 普水一。 普水測一 見張二 無章一九 高工一 普生一 高糧一 普経一 無章主兵五 駆逐艦浦風 夕十五六通リ 其ノ他ナシ</p>
<p>信</p>	<p>信 號</p>	

機 銃 五〇〇〇〇(三〇〇〇)

<p style="text-align: center;">P KdMB</p>	<p style="text-align: center;">二二七 二三五八</p>
<p style="text-align: center;">P GF</p> <p style="text-align: center;">P NB</p> <p style="text-align: center;">P YB</p> <p style="text-align: center;">(通報)</p> <p>海防三二二九 三三三</p> <p>若月 霜月 大定</p>	<p style="text-align: center;">。六三 三。</p>
<p>機動部隊本隊電令作第三號</p> <p>聯合艦隊電令作第三八一號ニ依リ大定ヲ機 動部隊本隊ヨリ除キ第一遊撃部隊四十一駆逐 隊六十一駆逐隊ヲ同ジク第二遊撃部隊ニ編入 セラル</p> <p>大定若月ハ爾後第一遊撃部隊第二遊撃部隊各 指揮官所定ニ依リ行動スバシ霜月ハ内海西部ニ於 テ急速補給ノ上同ジク行動スルモノトス</p> <p>本職明日一。將旗ヲ日 向ニ移揚 三十一戰隊司 令官、便宜五十鈴ニ旗艦ヲ復歸スベシ</p> <p>機動部隊本隊及霜月初月二十八日一三。奄内 海ニ回航 急速出撃準備ヲ完成</p> <p>四杉桐ハ速ニ奄美大島ニ於テ補給後内海西部 ニ回航スベシ</p>	<p>二機ニ救助セラレタル乗員艦長以下准士官以上 一名 下士官兵一名 尚霜月三名 救助セ ラレタルモノト認ム</p> <p>KdMB 機密等ニ七三三五八番電</p>
<p style="text-align: center;">電</p>	<p style="text-align: center;">電</p>

漢風 <small>二九</small>	漢風 <small>二七</small>	ニキ 2YB <small>一九三六</small>	P 2SD <small>二五八</small>
11B 110g P 1sd	(通報) 野 P 2YB <small>一三〇〇</small>	P 2sd GKF P 10s GKF P YB (通報) 61dg 41dg 31dg	2sd 100g 飛道隊 (通報) 50g 各 P 10g
漢風機密第二九〇番電 一九四〇年五月三十一日 新南群島ヲ經テ十一月一日ニ 漢風清霜 B-24 一機ト交戦一五〇度方向ヲ退我地 点 1035 〇六三〇	漢風機密第二八〇番電 漢風機密第二九〇番電 漢風清霜 B-24 一機ト交戦一五〇度方向ヲ退我地 点 1035 〇六三〇	2YB 機密第二七一九番電 第二遊撃隊部隊電令作第九號 第一遊撃隊第六十一驅逐隊ハ連ニ「コニラ」ニ回航 後令ヲ待テ 第三上驅逐隊ハ「コニラ」ニテ補給 「パラロ」島「コニラ」ニテ「コニラ」ニテ補給 回航)ニ回航後令ヲ待テ行動ヲ定テ報告ス ベシ	五補給部隊ハ補給終了セバ速ニ吳ニ回航修 理ニ従事後令ヲ待テ 2SD 機密第二八〇番電 當隊ハ濱波岸波島風秋霜一浦風「コニラ」ニ 向、本日三〇。灣口着ノ事定
信	電信	電	電信

<p>シキ 1YB</p>	<p>二九</p>	<p>尸 1YB</p>	<p>二九</p>
<p>1YB</p>	<p>二〇二九</p>	<p>1YB</p>	<p>A 1769 一七一九</p>
<p>(1) フォルネイ出撃要領 (2) 出港順序 第十戰隊 第三水雷戰隊 第三戰隊 第五戰隊 第一戰隊 順 (3) フォルネイ 灣口ヨ出撃 六令ナリシテ 第六。警戒</p>	<p>第一遊撃部隊 信令 第二二一號</p>	<p>「バルネイ」着、予定 第一遊撃部隊 第一戰隊 (火和長門) 第三戰隊 第五戰隊 (羽黑) 第二水雷戰隊 (第一駆逐隊 秋霜 第三二駆逐隊 浪波、島風) 第十戰隊 (天劍) 第十七駆逐隊 浦風 雪風。磯風) 八明 三十日 補給終了 次第 (五。ト。予定) フォルネイ 出撃 南西方面ニ機動シ 南西方面作戦ヲ支援セントス 第七戰隊 (利根) 高雄 妙高 時雨 ハコフルネイ方面ニ待機シ 連ニ損傷個所ノ應急修理ニ任ズバシ 三補給部隊 行動要領 別令</p>	<p>號</p>
<p>號</p>	<p>信</p>	<p>號</p>	<p>電</p>

<p>1YB</p>	<p>GF</p>	
<p>1YB</p>	<p>高教官長官 海參部長</p>	
<p>本日ノ出撃ヲ取止ム</p>	<p>聯合艦隊電令作第三八七號 第一水雷戰隊ヲ第一遊撃部隊ヨリ除キ第二遊撃部隊ニ編入ス 第一遊撃部隊ハ特令「レ」迄「ガ」ル「イ」ニ待機ス</p>	<p>航行序列 二。警戒航行序列左ノ通 第三戰隊(第五戰隊ヲ加シ)ハ第一戰隊ノ左正横四軒(11)ニ点位ス第一戰隊ノ直衛(10、11、12)ヲ第三戰隊ノ直衛(12、16)ヲ第二水雷戰隊旗艦及第二水雷戰隊驅逐艦トス</p>
<p>信號</p>	<p>電</p>	<p>信</p>

29

<p>シキ YB</p> <p>三三九 三三九</p>	<p>B GF</p> <p>二七三 二七五</p>	<p>海風 三三〇 三三〇</p>	<p>サ VS.F</p> <p>三二二 三二四</p>
<p>SPP YB</p> <p>(通報) 大定</p> <p>三三九 三三九</p> <p>GF GF</p>	<p>GF GF</p> <p>(通報) 大定</p> <p>三三九 三三九</p> <p>GF GF</p>	<p>GF GF</p> <p>(通報) 大定</p> <p>三三九 三三九</p> <p>GF GF</p>	<p>捷号部隊</p> <p>三三九 三三九</p>
<p>第一遊撃部隊電令第一二六号</p> <p>大定ハ「マニラ」ニ於テ第一遊撃部隊用對空彈一 乘(主トシテ「ニ」機七高角砲及「五」機銃)成ル</p> <p>YB機密第九三三番電</p>	<p>聯合艦隊電令作五〇四号</p> <p>率鷹水雷第一三〇駆逐隊ハ第一遊撃部隊南 西方面部隊ノ「」同部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケ 速ニ補給ニ任ズル後四島西部ニ歸投スベシ</p>	<p>海風 三十日。八〇〇ノ位置北緯十二度十六分東經 一一四度 三五五分合同点ノ指示ヲ受テ</p> <p>GF機密第三〇一七五番電</p>	<p>敵電話停受ニ依ルハ在「」艦上機ニ灯シ明 三十日 朝母艦ニ復歸ヲ指令セリ敵ハ残存空母 ヲ集メ更ニ機動部隊ニ依ル作戰ヲ企圖シテ ハカシ</p> <p>海風機密第九三三番電</p>
<p>信</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>	<p>電 信</p>

<p>カキ ニフ</p>	<p>五二 一八</p>	<p>大毎 口 KTF SP YE</p> <p>中 GF P YB</p> <p>(通報) ?</p>	<p>P 3100 P KTF</p>
<p>第 四 航 空 戦 隊 (隼 鷹 龍 鳳) 日 向 缺 (菲 島) 方 面 ニ 進 出 第 一 遊 撃 部 隊 ニ 編 入 後 ハ 差 當 同 方 面 ヲ 根 據 セ ン ト シ テ 南 西 方 面 部 隊 指 揮 官 ノ 指 示 ヲ 受 ケ 四 航 戦 司 令 官 所 定 ニ 依 リ 聯 合 艦 隊 並 令 作 第 三 八 二 號 関 聯 南 西 方 面 部 隊 作 戦 ヲ 支 援 セ ン ノ ラ ル 事 定</p>		<p>ベク多数搭載ノ上要スレバコミリニテ補給ヲグル ネイニ進出スベシ</p> <p>五機 密 第 二 九 〇 五 一 八 番 電</p>	
<p>電</p>	<p>信</p>	<p>電</p>	<p>電</p>

四作戦経過概要

三		二			一			日	
小								左所	
北々東	晴	五〇粒	三五度	四米	南東	曇	三〇粒	三五度	五米
北東	晴	六〇粒	三七度	二米	南東	晴	七〇粒	三五度	四米
北東	晴	七〇粒	三五度	三米	南東	曇	七〇粒	三八度	三米
合		第			第			務任般一	
								務任別特	
一六三〇 1700g 「リング」ニ向照南登三一四四着		〇九五〇 矢矧 聯合対潜訓練 爲沼 地発一八三〇着			〇五二五 矢矧 聯合対潜訓練 爲沼 地発二四四四着			主要行動作業	
								記事	

六			五			四										
昭					ガ					ン						
四。杆	二五。四度	一五。派	東南	曇	五。杆	三二。度	一。米	南	晴	二。米	三。度	二。米	三。度	三。度	三。度	一。米
七。杆	三三。度	四。米	南	晴	七。杆	二九。度	八。米	南	曇	五。杆	三三。度	三。米	南	三。米	三。米	三。度
六。杆	三三。度	三。米	東	晴	四。杆	二六。度	三。米	南	曇	八。杆	三三。度	三。米	南	三。米	三。度	三。度
隊								艦								

		一〇三。矢矧修理ノ爲昭南ニ向ケリガ發一六ニ。着		一八。矢矧始ニ〇四六ノ頃地着	〇九。矢矧始ノ討清聯合襲撃計空 戦術訓練ノ爲頃地着		

一。	九	八	七
	リ		南
三米 南東 晴	四。米 二五度 三三度 三三度 六。米	五米 四米 五米 三三度 三三度 六。米	快晴 西北西 南東 東東東 曇
五五米 南西 晴	三三度 三三度 三三度 六。米	三三度 三三度 三三度 六。米	快晴 北西 南西 南西 曇
五米 南東 晴	三三度 三三度 三三度 六。米	三三度 三三度 三三度 六。米	快晴 西 東南東 北 曇

第

概

一六五 天知炮一七三九 射訓練 為沼地発	一〇〇 天知炮射訓練 為沼地発 主砲高角砲	一〇〇 天知炮射訓練 為沼地発 射訓練聯合訓練 為沼地発 一八二〇 天知一五三〇 射訓練 為沼地発 横須賀二向ヶ内 海西部発	〇六〇 磯風修理 為リソグ発 一〇〇 昭南商港東碇地着	司令駆逐艦 磯風ヨリ浦風 ニ変更
-------------------------------	--------------------------------	--	---	------------------------

8260

一			二			三		
三〇。秆	三〇。度	三〇。度	三〇。秆	三〇。度	三〇。度	三〇。秆	三〇。度	三〇。度
六〇。秆	三五。度	四〇。米	八〇。秆	三〇。度	四〇。米	六〇。秆	三〇。度	三〇。度
七〇。秆	三〇。度	二〇。米	六〇。秆	三〇。度	四〇。米	六〇。秆	三〇。度	三〇。度

機

動

<p>地着 二。朝雲、山雲「バルハラ」津掃蕪、爲 分離</p>	<p>〇七三。雪風 魚雷搜索、爲後泊地発 朝雲、山雲「リンカ」泊地着</p>	<p>一三〇。天劍 後泊地発 一五四。泊地着 二〇〇。滿潮野分鴨 (磯風欠) 泊地着 一九三五。冬日被雷友ヶ島水道二向ノ</p>	<p>〇九三。天劍鴨 (磯風欠) 防空戦 闘防禦発射訓練、爲泊地発 後泊 二一〇。碓泊輸送船團攻撃 訓練、爲後泊地発</p>
---	--	--	--

		一六			一五			一四		
カ										
南西	晴	三〇杆	三〇度	六米	南	晴	三〇杆	三〇度	三〇杆	三〇度
南西	晴	三〇杆	三〇度	五米	南	曇	三〇杆	三〇度	四米	西南西
南	晴	三〇杆	三〇度	五米	南東	晴	三〇杆	三〇度	六米	南東
艦										
隊					部					
<p>一四〇 船高朝野分一雄鳳丸八紘丸 船團護衛、為「可」登昭南三向ヲ</p>					<p>二二五〇 欠矧船(幾風丸)泊地着 〇一四五 欠矧泊地着 一三〇〇 欠矧船(幾風丸)曳艦被 曳艦教練、為泊地着 一八〇〇 天矧一八四、欠矧泊地着</p>					
<p>捷一号作戦警</p>					<p>船團護衛、為「可」登昭南三向ヲ 第三隊隊已分</p>					

二			一九			一八			一七		
航											
五。杆	三。度	九。米	晴	三。杆	三。度	五。米	晴	三。杆	三。度	四。米	晴
八。杆	三。度	一。米	晴	八。杆	三。度	八。米	晴	八。杆	三。度	五。米	晴
六。杆	三。度	七。米	晴	八。杆	三。度	六。五。米	晴	七。杆	三。度	三。米	晴

隊

第

<p>二四五 夫 朝雲山雲 二四五 朝雲丸船</p> <p>一五〇 朝雲山雲 朝雲丸船</p> <p>一八〇 朝雲山雲 朝雲丸船</p>	<p>二四五 夫 朝雲山雲 二四五 朝雲丸船</p>	<p>二四五 夫 朝雲山雲 二四五 朝雲丸船</p>
<p>朝雲丸船</p> <p>朝雲丸船</p> <p>朝雲丸船</p>		<p>朝雲丸船</p>

第二命隊 (3500) トケル

第一号作戦発

三	三	三	三
海			
晴 六米 北東	晴 六米 東	晴 六米 東	晴 六米 北東
晴 六米 北東	晴 六米 東	晴 六米 東	晴 六米 北東
晴 六米 北東	晴 六米 東	晴 六米 東	晴 六米 北東

遊

二八。兵衛武藏警戒ト云		二。満潮時分 雄風丸船團護衛 ヨルネヨリ着	三。野分又三部 隊ニ清霜ニ部 隊ニ編入
-------------	--	--------------------------	---------------------------

	三七			三六			三五			
	中									
曇	五の杆	三の五度	七米	北東	晴	五の杆	三の五度	七米	北東	晴
曇	八の杆	三の五度	八五米	東北東	晴	八の杆	三の五度	七米	北東	晴
曇	七の杆	三の五度	六米	東	晴	七の杆	三の五度	七五米	北東	晴
	船					三				

	部	擊
〇四三〇 浦風コルネ不着	〇三二六 浦風コルネ不着	〇二二〇 浦風コルネ不着
	キ 44/8 2YB 61/8 ニ編入 ヲ 10MB ヨリ除	〇二二〇 浦風コルネ不着 〇三〇〇 以後滿潮朝雲山雲消息不明(第一部隊コルネカオ水道通過交戦後) 〇八一〇 以後初月消息不明 〇八四〇 秋月消息不明 〇一四〇 野分浦風救援ニ向ヒタル後消息不明 一六四〇 浦風頑給ノ爲余離コルネニ向フニ。五着

4

三			三			二九			二八				
イ			ネ			ル			フ				
五。秆	二八。度	三米	西南	晴	六。秆	三。五。度	五米	南東	晴	五。秆	三。三。度	五米	東
七。秆	三。度	二米	南西	晴	七。秆	三。三。度	三米	南東	晴	六。秆	三。五。度	三米	東南東
八。秆	三。八。度	六米	北西	晴	八。秆	三。八。度	六米	西	晴	七。秆	三。三。度	二。五。米	西南西
隊													
一七三。 漢風「マニラ」ヨリ「アルネ」着									二二三。 漢風「マニラ」着				